

誠心誠意

令和6年12月19日
みよし市立北中学校
第2学年通信 第18号
文責：

「誓いの言葉」から始まる北中最後の一年

12月13日(金)に泰斗式を開催しました。職場体験学習を終えて、どんな大人になりたいかという自分自身の思いを「誓いの言葉」という形で発表しました。「誓いの言葉」の発表のときは、とても緊張したことと思いますが、スポットライトに照らされ、堂々と発表していたみなさんの姿に、この2年間の成長を感じ、私たち学年部教員は感動しました。たった20秒ほどの発表でしたが、その20秒に思いを込める姿に、一人の人間としてのたくましさを感じました。

そんな「誓いの言葉」の発表を終えて、いよいよみなさんの北中最後の一年の生活が始まります。みなさんが、この一年間、大変なことも乗り越え、弱い自分に負けず、自分自身を成長させていくことを期待しています。そして、少し気は早いですが、胸を張って北中学校を卒業して行ってほしいです。

舞台上に昇り、校長先生から証書を受け取るまでの時間は、「誓いの言葉」の発表より、もっと短いです。来年度、卒業証書授与式の、その一瞬にすべてを出し切る人になるためにも、誓いを忘れずに一年間生活してくださいね。



今までは、人前で発表をするとき自分は緊張しすぎてごちなくなってしまうことがほとんどだったけど、泰斗式を通して人前でも堂々と発表できるようになれたところに成長を感じました。

今まではクラスの中での発言はできていましたが、学年の場ではあまり挑戦したことがありませんでした。その体験を今回できたことがよかったです。そして、今回をきっかけに、自分の将来のことを、これからももう少し周りの人に相談してみようと思えました。

本番を迎えるまでの練習ではあまりうまく発表できないこともありましたが、本番では間違えずにスラスラ大きな声で話せました。自分の中で最高の泰斗式にできたのでよかったです。

最初の練習では、礼を忘れていたり、言い終わったらすぐに舞台から降りたりして、緊張して簡単なミスがたくさんしていたけど、本番では学年全員が堂々と、目線など細かいところまで意識してやり切れたのがすごくよかったです。

リハーサルと比べても、本番では、一人一人が本当に発表をがんばっていました。そして、そんな式にできたのも、実行委員がこの泰斗式を作ってくれたためだと思ったので、実行委員に感謝をしたいなと思いました。

今回の誓いの言葉を通して、一人一人に想いがあって、自分にも想いがあることに気がきました。これからは、その想いを踏みにじらないように、言葉に気を付けて行動していきたいです。

リハーサルと比べ、姿勢や声の大きさが良くなったと思い、朝の会や北中タイムといった短い時間でも練習して、日々の努力の積み重ねのおかげで自分の満足のいく泰斗式となったと思いました。

自分の言葉に責任をもって生活していきます。また、人の目の前に立って誓ったからには、誓ったことをしっかりと守っていきます。

自分の未来に向けて、本気で発表することができました。また、自分が発表する前後も、仲間が発表する姿を真剣に聞くことができたのでよかったです。自分がこの泰斗式で誓ったことは、ずっと心の中に置いて、生活していきたいと思いました。

自分の苦手なことを少しでも克服できたことに、自分自身の成長を感じました。

何回も練習を重ねていくうちに、自信がつけられました。また、他の人の発表を聞いて大きい声を出したほうが聞き手の心に残ることがわかったので、本番では大きい声を出すことができてよかったです。

今後の自分と、どう向き合っていけばいいのか、考える機会になってとてもよかったです。

今回の泰斗式では、自分のよい所や悪い所をもう一度見つめ直すことができました。そして、自分をよくするための改善策を考えることができる機会になりました。

人前で話す力、緊張しない心、メンタルが強くなったことなど、今回の泰斗式でいろいろなことがすごく成長したなと自分の中で思いました。

最初は学年の前で発表するのは抵抗がありました。でも、最後は楽しんで発表できるようになったので、いろいろな面で自分自身が成長できました。

2年生が心を込めた場面 地域貢献活動で示した地域への感謝

泰斗式の日の午後に、学級ごとに分かれて地域貢献活動を行いました。どの場所もとても美しくなりました。

地域の人のために掃除したら「ありがとうございます」と声をかけてもらい、すごく心が温かくなりました。これからも地域の人のために何かをしたいと思いました。

清掃を終えると達成感があって、誰かのためならがんばれることに気がきました。また何か地域のために活動したいです。

地域の人に日頃の感謝を掃除というところでお返ししたけれど他の場面でもお返しできたらいいなと思いました。



